

# 研究活動報告

年 月 日～ 年 月 日

## 凡例

1. この研究活動報告欄は、年 月から 年 月までの研究活動について、本学部専任教員が提出した資料に基づき、紀要編集委員会が作成したものである。したがって、資料未提出分については多少の遺漏があり得る。
2. 掲載順序は、本学部における講座順及び名簿順とし、報告内容については、原則として、著書、論文、学会発表の順としてある。
3. 本欄における記載様式は、原則として、以下のとおりである。
  - (1) 著書の場合  
著者名：著書名、発行所名、発行年、頁数。
  - (2) 単行本所収論文の場合  
著者名：論文名、(編者名) 書名(発行所または発行機関名)、発行年、掲載頁。
  - (3) 雑誌掲載論文の場合  
著者名：論文名、掲載誌名、巻、号、発行年、掲載頁。
  - (4) 学会発表の場合  
発表者名：発表題目名、学会名(開催年月日、場所)。

---

## 地域文化基礎研究

- 熊田健二：菩提心に関する一考察——明恵・法然・親鸞をめぐって——，アルテス・リベラレス，第57号，1995年12月，1-18.
- 山本昭彦：「牛乳と金貨—「銀河鉄道の夜」初期形を読む」，(菊地良夫他11名共著)平成6年度教育研究学内特別経費研究報告書『テキスト理論の展開とテキストの諸相』(岩手大学人文社会科学部総合研究委員会)，1995年3月，169-185.
- 山本昭彦：「ポラーノの広場はどこにあるのか—宮沢賢治と近代」，「アジア文化研究 別冊6 日本の近代化と脱近代化」(国際基督教大学学報Ⅲ—A)，国際基督教大学アジア文化研究所刊，1995年10月，97-114.
- 山本昭彦：「ポラーノの広場はどこにあるのか—宮沢賢治と近代」，国際基督教大学アジア文化研究所・比較文化研究科/日仏会館主催国際シンポジウム〈日本の近代化，脱近代化は，西欧のそれと軌跡を異にするか，等しいか〉(1995年6月19日，国際基督教大学)
- 杉浦 直：岩手文化の地域性—岩手の文化地理序説再考—，(渡邊基編著)『岩手の地域と社会—変貌と課題を考える—』(岩手大学人文社会科学部「岩手の研究」班)，1995年，240-256.

- 杉浦 直：岩手の民家研究動向，民俗建築，108号，1995年，101-111.  
 高津斌彰，實 清隆，村上雅康，堂前亮平，杉浦 直：アメリカ合衆国ワシントン州における  
 日系企業の展開，経済地理学会関西支部例会（1995年9月30日，関西大学）

### アジア研究

- 藤原 暹：北方洋学思想史—南部盛岡と箱館(3)，アルテス・リベラレス，第56号，1995年6  
 月，1-9.  
 菊田紀郎：「音便」他4項目，佐藤喜代治他編『漢字百科大辞典』，明治書院，1996年1月。  
 菊田紀郎：本朝における「気」の受容と成句，岩大国語国文研究，第1号，1996年3月，1-12.  
 深澤秀男：変法運動と瀏陽算学館，アルテス・リベラレス，第57号，1995年，19-30.  
 深澤秀男：変法運動と陳宝箴，史境，第32号，1996年，32-46.  
 深澤秀男：清末変法時期の学会・報館・学堂について，東北史学会，（1995年9月30日，盛岡  
 中央公民館）  
 深澤秀男：変法運動と陳宝箴，歴史人類学会（1995年11月14日，中央大学駿河台記念館）  
 吉水清孝：シャバラスヴァーミンにおける apūrva は「新得力」か？(1)，アルテス・リベラ  
 レス，第57号，1995年12月，31-46.  
 吉水清孝：シャバラスヴァーミンにおける apūrva の再検討，インド思想史学会（1995年12  
 月9日，京都大学）  
 砂山 稔：蘇洵の水官詩について，『中村璋八博士古稀記念東洋学論集』，汲古書院，1996年1  
 月，771-789.  
 川本栄三郎：言語テキストとしての「儒林外史」，平成6年度教育研究学内特別経費研究報告書  
 『テキスト理論の展開とテキストの諸相』（岩手大学人文社会科学部総合研究委員  
 会），1995年3月，85-95.  
 川本栄三郎：「儒林外史」の統合観念と物語知性，アルテス・リベラレス，第57号，1995年12  
 月，47-59.  
 岡崎正道：日本事情教育の視角，アルテス・リベラレス，1995年6月，11-18.

### 欧米研究

- 池田成一：ド・マンと解釈学，平成6年度教育研究学内特別経費研究報告書『テキスト理論の  
 展開とテキストの諸相』，1995年3月，1-25.  
 斎藤博次：『オーギ・マーチの冒険』の政治学，平成6年度教育研究学内特別経費研究報告書  
 『テキスト理論の展開とテキストの諸相』，1995年3月，141-155.  
 加藤宏幸，千葉裕平：アルベール・カミュの『異邦人』論—不条理な感情の生成過程および自  
 然との関係，アルテス・リベラレス第57号，1995年12月，83-94.  
 Y. Takahashi: Fricative Voicing in Old English, *Artes Liberales*, No. 56, 1995, 6, 19-30.  
 Y. Takahashi: Capturing Segmental Strength in Non-Linear Phonology, *Artes Liberales*,  
 No. 57, 1995, 12, 69-82.  
 Y. Takahashi: On the Parameterization of "Spread  $\alpha$ " in Lexical Phonology, *Papers from  
 the Thirteenth National Conference of The English Linguistic Society of Japan* (日  
 本英語学会), 1996, 3, 131-140.

- 高橋幸雄：音韻論の Default Rule の形式について，日本言語学会第 110 回大会（1995 年 6 月 11 日，早稲田大学）．発表の概要は，On the Form of Default Rules in Phonology として『言語研究』（日本言語学会），No. 108, 1995 年 11 月，167 に掲載されている．
- 高橋幸雄：音韻論の下位モジュールと「Spread  $\alpha$ 」の可能性について，日本英語学会第 13 回大会（1995 年 11 月 19 日，東京学芸大学）．学会発表時の資料は，“Spread  $\alpha$ ” and Related Sub-modules of Phonology として大会の Conference Handbook（21-24）に掲載されている．
- 海老澤君夫：「カラマゾフの兄弟」とシラー，平成 6 年度教育研究学内特別経費研究報告書『テキスト理論の展開とテキストの諸相』，1995 年，67-84．
- 菊地良夫：エクリテュールの反転・テキストの生成—*L'Ament de la Chine du Nord* におけるイメージとしてのテキスト—，平成 6 年度教育研究学内特別経費研究報告書『テキスト理論の展開とテキストの諸相』，1995 年，97-125．
- M. Yokoi: Chronotypes  $\alpha/\omega$  et temps verbaux en français, アルテス・リベラレス，第 56 号，1995 年 6 月，31-40．
- 長野俊一：テキストの多層構造—芸術テキストとしての『鰐』の分析—，平成 6 年度教育研究学内特別経費研究報告書『テキスト理論の展開とテキストの諸相』，1995 年 3 月，157-168．

### 行動科学研究

- 松岡和生：表象，（丸山欣哉編）基礎心理学通論（福村出版），1996 年，97-105，108-109．
- 松岡和生：直観像所有者（Eidetiker）とはいったいどのような人達なのか，日本心理学会第 59 回大会ワークショップ 9 —イメージ能力の個人差とは何か—（1995 年 10 月 11 日，沖縄コンベンションセンター）．
- 松岡和生：創造的発見における視覚的イメージの効果 —Finke のイメージ合成課題と VVIQ 及び TCT 創造検査との関連性—，日本心理学会第 59 回大会（1995 年 10 月 13 日，沖縄コンベンションセンター）．
- 岡田 斉，畠山孝男，松岡和生：夢見の形式的特徴に関する質問紙調査(1) —生涯発達の視点からみた性差—，日本心理学会第 59 回大会（1995 年 10 月 13 日，沖縄コンベンションセンター）．
- 松岡和生，山口 浩：抹消皮膚温コントロールにおけるイメージの効果，東北心理学会第 49 回大会（1995 年 9 月 20 日，宮城学院大学）．
- 佐藤文子：PIL—生きがいテスト—，（松原達哉編）心理テスト法入門（日本文化科学社），1995 年，148-149．
- 佐藤文子：パーソナリティ，（丸山欣哉編）基礎心理学通論（福村出版），1996 年，174-179．
- 細江達郎：適応とは，（丸山欣哉編）基礎心理学通論（福村出版），1996 年 3 月，192-194．
- 細江達郎，細越久美子：（翻訳）B. フィンドレイ著，心理学実験研究レポートの書き方（Findlay, B., How to Write a Psychological Laboratory Report, 1993），（北大路書房），1996 年 3 月，124p．
- 細江達郎：しろうと理論の展望—日常性の社会心理学—，家族心理学年報，13 号，65-79．
- 細江 達郎：Unobtrusive Measures（非影響的測定法），現代行動科学会誌，第 11 号，1995 年 8 月，6-10．

- 細江達郎, 長澤秀利: 生態学的心理学の方法による犯罪発生場面の基礎的研究, 日本応用心理学会第 62 回大会 (日本応用心理学会第 62 回大会発表論文集 p. 23), 1995 年 9 月.
- 細江達郎, 田名場美雪, 田名場忍: 暗黙のパーソナリティ論による人格観検査 (IPT) の制作, 日本心理学会第 59 回大会 (日本心理学会第 59 回大会論文集 p. 79), 1995 年 10 月.
- 細江達郎: 犯罪発生場面に関する基礎的研究—生態学心理学によるアプローチの可能性—日本犯罪心理学会第 33 回大会 (犯罪心理学研究第 33 巻特別号 p. 166-167) 1995 年 11 月.
- 山崎達彦: 近代化における「地域」社会の変貌と社会的行為論の立場, (渡邊基編著) 岩手の地域と社会, 1995 年, 136-153.
- 竹村祥子: 家族と育児, (藤田弘夫・西原和久編) 権力から読みとく現代人の社会学・入門 (有斐閣), 1996 年, 35-50.
- 竹村祥子: 「パーソナル」・「機能主義的分析」・「構造—機能分析」・「手段的リーダー／表出的リーダー」, (比較家族史学会編) 辞典家族 (弘文堂), 1996 年, 133, 261, 317, 426.
- 竹村祥子: 岩手県の家族における核家族化と高齢化, 岩手の地域と社会—変貌と課題を考える— (岩手大学人文社会科学部), 1995 年, 171-188.
- 竹村祥子: イベントとしての「遠野まつり」の展開, 中央大学人文科学研究所『人文研紀要』, 第 24 号, 1995 年, 145-162.
- 横井修一: 農業就業構造の変動の集落間格差—岩手県沢内村の場合, (渡邊基編著) 岩手の地域と社会—変貌と課題を考える— (岩手大学人文社会科学部「岩手の研究」班), 1995 年, 117-134.

#### 産業経済論研究

- 早坂啓造: 岩手の近現代史への挑戦, 岩手史学研究 No. 78, 1995 年 2 月, 175-177.
- 早坂啓造: 松尾鉱業株式会社の再生と没落—第 II 次世界大戦後の展開過程—, アルテス・リベラレス, 第 56 号, 1995 年, 41-74.
- 早坂啓造: 北上川清流化運動と山本弘—第 II 次世界大戦後の松尾鉱山鉱毒水問題の一局面— (渡邊基編著) 岩手の地域と社会—変貌と課題を考える— (岩手大学人文社会科学部「岩手の研究」班), 1995 年 10 月, 220-238.
- K. Hayasaka: Development and Status Quo of Japanese Science and Technology Policies, *Artes Liberales*, No. 57, 1993, 95-111.
- 早坂啓造, 浦田敬三, 長江好道, 藤原隆男, 三浦黎明, 渡邊 基: 岩手県の百年 (山川出版社), 1995 年 12 月, 110-146, 171-211, 236-240, 268-275.
- K. Hayasaka: Contemporary Situation and Problems of Japanese Science and Technology. The 6th Session of the International School for the Sociology of Science and Technology, St.-Petersburg, June 27th-July 9th 1995.
- K. Hayasaka: Foundation and Perspectives of Scientific Policies of Japan. The 6th Session of the International School for the Sociology of Science and Technology, St. Petersburg, June 27th-July 9th 1995.
- 横山英信: 食管法下最終期における麦国家管理の展開, 農業経済研究報告 (東北大学), 第 28

号, 1995年, 23-38.

- 横山英信: 日本麦需給政策の史的 성격, アルテス・リベラレス, 第57号, 1995年, 113-134.
- 横山英信: 戦後食糧制度の展開と転換, 研究年報経済学(東北大学), 第57巻第4号, 1995年, 135-145.
- 横山英信, 大泉一貫, 近藤 巧: 鹿角圏域におけるカントリーエレベーター建設計画に関する調査報告書, 秋田県鹿角市農業農村支援機構, 1996年, 27p.
- 横山英信: (紹介) 福島県松川町農業協同組合30年史, 市場史研究(市場史研究会), 第14号, 1995年, 159-160.
- 横山英信: (コメント) 第31回東北農業経済学会青森大会シンポジウム「円高・自由化局面における青果物産地の進路」(1995年8月24日, 青森公立大学).
- 岡部純一: 調査論の今日的動向に関する一考察, 経済統計学会第39回全国総会(1995年9月20日, 北海学園大学).
- 井上博夫: ごみ減量対策における自治体の役割, (渡邊基編著) 岩手の地域と社会—変貌と課題を考える—(岩手大学人文社会科学部「岩手の研究」班), 1995年, 205-219.
- 井上博夫: 平成6年度岩手県港湾整備調査報告書(共著)(運輸省第二港湾建設局釜石港工事事務所), 1995年, 125p.

### 法学研究

- 大嶋一泰: 刑法総論講義案(第一分冊), 信山社, 1995年, 1-124.
- 大嶋一泰: 緊急避難における危難の現在性について, (斎藤誠二, 佐藤司, 神山俊雄, 筑間正泰編) 変動期の刑事法学—森下忠先生古稀祝賀上巻(成文堂), 1995年, 263-294.
- 大嶋一泰: 末期患者などに対する基本治療—特に人為的な水分と栄養の補給について—, 日本生命倫理学会, 生命倫理 VOL. 5, No. 1 (通巻6号) 1995年, 49-54.
- 大嶋一泰: 安楽死をめぐる義務衝突論と緊急避難論—ヴィティッヒ事件BGH判決と東海大学事件横浜地裁判決—, 法学第五十九巻第五号, 1996年, 35-67.
- 早野俊明: アメリカにおける継親子関係をめぐる法状況, アルテス・リベラレス, 第57号, 1995年12月, 135-153.
- 三浦 治: 取締役の経営判断に対する法的処理のあり方, 私法第57号, 1995年, 237-243, 318.
- 三浦 治: (論文紹介) Franklin A. Geverts, The Business Judgment Rule: Meaningless Verbiage or Misguided Notion?, 67 S. CAL. L. REV. 287-237 (1994) アメリカ法, 1995-2, 1996年, 271-277.
- 砂山克彦: 一般的拘束力, 労働判例百選(ジュリスト別冊)第6版, 1995年, 204-205.
- 砂山克彦: 岩手の福祉労働者, 『岩手の研究』所収, 1995年, 100-118.

### 科学論

- A. Nishikawa, K. Niizeki and K. Shindo: Band structure and structural stability of the high-pressure phase of the group VIb elements, J. Phys. Chem. Solids, Vol. 56, No. 3/4, 1995, 551-554.
- 進藤浩一, 白倉孝行, 遠藤教昭, 五味壮平: 新学習指導要領と情報処理教育, 情報処理教育研

- 究集会, (1995年12月15日, 吹田市文化会館).
- 進藤浩一, 遠藤教昭, 五味壮平: 複雑系としての社会情報システム, 第2回社会情報システムシンポジウム講演論文集, 1996年, 7-12.
- T. Shirakura and F. Matsubara: Evidence of a Spin-Glass Phase Transition of a Site-Random Ising Model in Two Dimensions, *J. Phys. Soc. Jpn.* Vol. 64, No. 7, 1995, 2338-2342.
- F. Matsubara and T. Shirakura: Phase Transition in Site-Random Spin Glass Models, *Computational Physics as a New Frontier in Condensed Matter Research*, 1995, 221-229.
- T. Shirakura and F. Matsubara: Distribution Function of Spin Overlap at  $T=0$  of a Site-Random Ising Spin Glass in Two Dimensions, *J. Phys. Soc. Jpn.*, Vol. 65, No. 1, 1996, 331-332.
- 松原史卓, 白倉孝行, 進藤浩一: 二次元±J イジングスピングラスの絶対零度でのオーダーパラメーター分布関数, 日本物理学会 1995年秋の分科会 (1995年9月28日, 大阪府立大学).
- 白倉孝行, 松原史卓, 北谷英嗣: 層状2次元±J イジングモデルの計算機実験, 日本物理学会第51回年会 (1996年3月31日, 金沢大学).
- 遠藤教昭, 佐藤亨至, 王 徳信, 三谷英夫, 進藤浩一: インターネットのWWWを用いた矯正診断用マルチメディア症例データベースの構築, 第54回日本矯正歯科学会大会論文集, 1995年, 122.
- F. Yonezawa, S. Fujiwara, S. Gomi and K. Omata: COMPLEX FLUIDS: ANOMALOUS RELAXATION, PERCOLATION, AND WETTING, (Eds, S. Ichimaru and S. Ogata), *The Proceedings of the Oji International Seminar, Elementary Processes in Dense Plasmas* (Addison-Wesley), 1995, 339-350.
- S. Gomi and F. Yonezawa: Anomalous Relaxation in the Fractal Time Random Walk Model, *Physical Review Letters*, Vol. 74, No. 21, (1995), 4125-4128.
- S. Gomi and F. Yonezawa: A new perturbation theory for the dynamics of the Little-Hopfield model, *Journal of Physics A: Mathematical and General*, Vol. 28, 1995, 4761-4775.
- S. Gomi and F. Yonezawa: Anomalous relaxation in a fractal-time random walk model, *Journal of Non-Crystalline Solids*, Vol. 192 & 193, 1995, 411-414.
- K. Omata, S. Fujiwara, S. Gomi and F. Yonezawa: Monte Carlo Simulations of Liquids — Wetting and Anomalous Relaxation — (Eds H. Takayama et al.), *Computational Physics as a New Frontier in Condensed Matter Research*, The Physical Society of Japan, 1995, 312-328.
- S. Gomi and F. Yonezawa: Continuous Time Random Walk Model as a Model of Anomalous Relaxation, 16th International Conference on AMORPHOUS SEMICONDUCTORS: Science and Technology (September 4-8, 1995, Kobe, Japan).
- 五味壮平, 遠藤教昭, 白倉孝行, 進藤浩一: DNAの長距離相関, 情報処理学会第52回全国大会 (1996年3月6日-8日, 電気通信大学).
- 五味壮平, 白倉孝行, 進藤浩一: DNAの長距離相関に対するモデルの検討, 日本物理学会第51回年会 (1996年3月31日-4月3日, 金沢大学).

## 基礎自然科学・物理学

- T. Takatsuka and R. Tamagaki: Nucleon Superfluidity in Kaon-Condensed Neutron Stars, *Prog. Theor. Phys.* Vol. 94, No. 3, 1995, 457-461.
- T. Takatsuka : Hot Neutron Stars at Birth : a Realistic Treatment, "Elementary Processes in Dense Plasmas" (Addison Wesley, 1995) 17-24.
- T. Takatsuka : Hot versus Cold Neutron Stars, *Nucl. Phys.* Vol. A588, 1995, 365c-370c.
- T. Takatsuka and R. Tamagaki : Nucleon Superfluidity in Neutron Star Core with Kaon Condensate, "Weak and Electromagnetic Interactions in Nuclei" (World Scientific, 1995) 625-628.
- 高塚龍之 : Newborn Neutron Stars and Related Problems, 「短寿命核ビームの科学'94」研究会報告集 (東大核研, 1995), 121-125.
- 高塚龍之, 玉垣良三 : K 中間子凝縮下の核子超流動, 素粒子論研究, 91 巻 4 号, 1995 年, D17-D21.
- 高塚龍之, 玉垣良三 : 中性子星コアの核子超流動——K 凝縮下の場合, 日本物理学会秋の分科会 (1995 年 9 月 28 日, 中部大学), 講演概要集第 1 分冊, 64.
- 高塚龍之 : 中性子星は何を教えてくれるか, 公開シンポジウム「原子核がひらく極限の世界」(科研費重点領域研究「短寿命核ビームの科学」総括班主催, 1996 年 2 月 10 日, 野口英世記念会館ホール).
- S. Nishizaki and J. Wambach : Double-dipole Excitations in  $^{40}\text{Ca}$ , *Physics Letters B* Vol. 349, 1995, 7-10.
- 西崎 滋, 高塚 龍之 : Comment on Relativistic and Nonrelativistic EOS, 「短寿命核ビームの科学'94」, 研究会報告集 (東大・核研) 1995 年 5 月, 126-130.
- S. Yamauchi, T. Aoki, K. Hayashida, H. Kaneda, K. Koyama, M. Sugizaki, Y. Tanaka, H. Tomida, and Y. Tsuboi : New Transient X-Ray Source in the Scutum Region Discovered with ASCA, *Publ. Astron. Soc. Japan*, Vol. 47, No. 2, 1995, 189-194.
- S. Yamauchi and K. Koyama : Iron Line Energy and Equivalent Width of the Galactic Ridge Emission, *Publ. Astron. Soc. Japan*, Vol. 47, No. 4, 1995, 439-443.
- Y. Kamata, K. Koyama, Y. Maeda, M. Ozaki, Y. Tawara, S. Ueno, and S. Yamauchi : ASCA Observation of PMS Stars in the rho Ophiuchi Dark Cloud Cores, (eds. K. Yamashita and T. Watanabe) *UV and X-Ray Spectroscopy of Astrophysical and Laboratory Plasmas* (Universal Academy Press), 1996, 283-286.
- S. Yamauchi, K. Tamura, K. Koyama, and ASCA team : ASCA Observation of Supernova Remnant RX 04591+5147, (eds. K. Yamashita and T. Watanabe) *UV and X-Ray Spectroscopy of Astrophysical and Laboratory Plasmas* (Universal Academy Press), 1996, 315-318.
- S. Yamauchi : ASCA Observations of Galactic Ridge Emission, International Conference on X-ray Astronomy "X-ray Imaging and Spectroscopy of Cosmic Hot Plasmas" (1996 年 3 月 12 日, 早稲田大学).
- 山内茂雄, 小山勝二・あすかチーム : あすかによる Orion Region の観測, 日本天文学会春季年会 (1996 年 3 月 27 日, 神戸大学).

## 基礎自然科学 (化学)

- S. Ogawa, S. Saito, T. Kikuchi, Y. Kawai, S. Niizuma, and R. Sato: Synthesis, Structure and Oxydation of Novel 4, 7-Disubstituted Benzotrithioles. Formation and Characterization of Radical Cation with  $11\pi$  Electron Framework., Chem. Lett., 1995, 321.
- 新妻成哉, 河田裕樹: アクリダンのアルコール溶液中における光反応の CIDEP による研究, 第 34 回 ESR 討論会 (1995 年 10 月 31 日~11 月 2 日, 松山).
- Y. Yoshimura: Dissolution Behavior of Optical Isomers of *fac*-Tris (amino) cobalt (III) of Some  $\alpha$ -Amino Acids in Water, Bull. Chem. Soc. Jpn., 68, 8, 1995, 2305-2311.
- 吉村泰樹: *fac*-Tris (amino acidato) Co (III) の溶解度に対する特異的塩効果, 日本化学会第 70 春季年会 (1996 年 3 月 28 日~31 日, 青山学院大学).
- 河田裕樹・新妻成哉・熊谷 勉: 水素供与性溶媒中におけるフラボンの光還元反応, 光化学討論会 (1995 年 10 月 10 日~12 日, 九州大学).
- 河田裕樹, 熊谷 勉, 鈴木映一, 新妻成哉: フラボンの  $\pi-\pi^*$  三重項からの光還元反応, 日本化学会第 70 春季年会 (1996 年 3 月 28 日~31 日, 青山学院大学).
- E. Kitazume: Separation of Rare Earth and Certain Inorganic Elements by High-Speed Countercurrent Chromatography (Edited by Y. Ito and W. D. Conway), High-Speed Countercurrent Chromatography (John Wiley & Sons, Inc), 1995, 415-443.

## 基礎自然科学 (生物学)

- 小野泰正: ニッコウムササビ *Oetaurista leucogenys nikkonis* の社殿・社叢における棲息, アルテス・リベラレス第 57 号, 1995 年 6 月, 94-109.
- 小野泰正: 岩手県に生息するサンショウウオ類と自然環境改変の影響, 岩手の地域と社会—変貌と課題を考える—, 1995 年 10 月, 2-13.
- 小野泰正: 昆虫におよぼす屋外照明等の影響 ことにタガメ, スズメガ類およびコウチュウ類について, アルテス・リベラレス第 57 号 (岩手大学人文社会科学部紀要), 1995 年 12 月, 155-166.
- Ono, Y.: Behavior of the Carrion Crow, *Corvus Corone Orientalis*, to Crack Walnut to eat; with Special Reference to its Habit of Using Automobiles as Nutcrackers, Saito-Ho-on Kai Museum Research Bulletin, No. 63, December 1995, 33-44.
- 牧陽之助: 松尾五色沼の湖色変化における微生物の鉄および硫黄酸化活性, 陸水学雑誌, 56 巻 3 号, 1995 年, 183-193.
- 牧陽之助: 雨と風が湖色の季節変化を異常にした可能性について, 陸水学雑誌, 56 巻 3 号, 1995 年, 227-231.
- 牧陽之助: 松尾五色沼の湖色変化とその陸水学的性質, (渡邊基編著) 岩手の地域と社会, 一変貌と課題を考える—, 1995 年, 23-36.
- 牧陽之助: 細胞長分布からみた A 型硫黄芝自然個体群における大鎌型細菌の型別について, 温泉科学, 第 45 巻第 4 号, 1995 年, 268-276.



- 牧陽之助：硫黄酸化細菌被膜（硫黄芝）と地球史，月刊地球，第18巻第1号，1996年，41-45.
- 牧陽之助：光合成に依存しない原始共生系，バイオマツ研究会（1995年7月16日，岐阜県平湯温泉）.
- 牧陽之助：原始共生系での酸化水素と分子状酸素，第42回日本生態学会（1995年8月29日，盛岡）.
- 牧陽之助：雨と風が湖色の季節変化を異常にした可能性について，第60回日本陸水学会（1995年10月6日，名古屋）.
- 山本啓之，千浦 博，平石 明，加藤憲二，牧陽之助，清水 晃：原始共生系モデルとしての温泉水系の微生物群集；16s rRNA 遺伝子による細菌群の系統解析，第11回日本微生物生態学会（1995年11月11日，福岡）.
- 竹原明秀：洪水とヤナギ，世界の植物，6巻，1995年，229.
- 竹原明秀：ヤマネコヤナギ，世界の植物，6巻，1995年，229-230.
- 竹原明秀：シバヤナギ，世界の植物，6巻，1995年，232-233.
- 竹原明秀：山火事とポプラ，世界の植物，6巻，1995年，253.
- 三浦 修・佐々木洋・竹原明秀：二次植生の保護と保全—長走風穴のコケモモ—，季刊地理学，47巻，1995年，49-52.
- 菅原亀悦，竹原明秀：八幡平地域における湿原植生の復元に関する調査研究，黒谷地湿原保全対策調査報告書（黒谷地湿原調査研究検討委員会），1995年，1-30.
- 竹原明秀：和賀川上流域のヤナギ林およびユビソヤナギの分布，自然誌研究年報，1巻，1995年，11-21.
- 竹原明秀，菅原亀悦：大白森湿原の植生，（菅原亀悦編）大白森湿原学術調査報告書（岩手県），1996年，39-70.
- 竹原明秀：赤井谷地の植物群落と植物分布，（天然記念物赤井谷地沼野植物群落調査指導委員会編）赤井谷地の自然（会津若松市教育委員会），1996年，67-89.
- 竹原明秀：赤井谷地周辺地域の植生，（天然記念物赤井谷地沼野植物群落調査指導委員会編）赤井谷地の自然（会津若松市教育委員会），1996年，91-119.
- 竹原明秀，飯泉 茂：アンケートにみる赤井谷地，（天然記念物赤井谷地沼野植物群落調査指導委員会編）赤井谷地の自然（会津若松市教育委員会），1996年，213-220.
- 竹原明秀，松岡洋一，藤元 淳，菅原亀悦：狛鼻溪とその周辺地域の植生，（東山町教育委員会編）狛鼻溪学術調査報告書（東山町教育委員会），1996年，27-50.
- 竹原明秀，菅原亀悦，有泉智之：焼走り溶岩流地域の植生と気象，日本生態学会第42回大会（1995年8月29日，岩手大学）.
- 岩熊敏夫，野原精一，渡辺 信，平田健正，上野隆平，広木幹也，竹原明秀，隅田裕明：宮床湿原の生態系構造，日本生態学会第42回大会（1995年8月29日，岩手大学）.
- 野原精一，広木幹也，竹原明秀：ミズゴケ湿原における植物の生態分布と表層地下水の流動性，日本陸水学会第60回大会（1995年10月5日，名古屋大学）.
- 竹原明秀，三浦 修，佐々木洋：長走風穴植物群落の成立と維持—特殊な環境と人為的環境—，第40回日本生態学会東北地区会（1995年11月25日，福島大学）.
- 竹原明秀：福島県赤井谷地の植生，特に植物の分布，日本生態学会第43回大会（1996年3月29日，東京都立大学）.
- 岩熊敏夫，野原精一，加藤秀男，竹原明秀：尾瀬ヶ原中田代の土壤水分環境，日本生態学会第43回大会（1996年3月31日，東京都立大学）.

### 保健体育

澤村省逸, 栗林 徹: 保健体育実技のウェイト・トレーニングが形態, 体力に与える影響—スポーツ種目が与える影響との比較から—, アルテス・リベラレス, 第56号, 1995年6月, 111-124.

### 総合科学論研究会活動記録

1995年4月1日～1996年3月31日

#### 現代学問論

- 第1回 1996年2月21日 池田成一: 英米系の科学論について  
 第2回 1996年3月4日 高橋幸雄: チョムスキーのデカルト派言語学について  
 第3回 1996年3月26日 山崎達彦: マックス・ウェーバーにおける合理化論と社会的行為論の立場

#### 部分と全体

- 第1回 1995年10月24日 成田 浩: 言語学における成分とは何か  
 池田成一: 解釈学における部分と全体  
 高塚龍之: アトミズムの成功と“限界性”  
 細江達郎: 人間科学における課題のレベルと接近法のレベル  
 第2回 1995年11月7日 第1回研究会の発表をめぐっての討論